

国民健康保険料の引き下げを!

ハガキでの請願署名にご協力をお願いします



署名を訴える倉元達朗市議

サラリーマンの健康保険の 1.5~2 倍の保険料になる福岡市の国民健康保険料 (右図)。日本共産党は 9 月議会で引き下げを高島市長に迫りました。

サラリーマンの保険料の 1.5~2 倍にも

所得 (年間)	国保料 (年間)	協会けんぽ (年間)	2018 年度
266 万円	39 万 7400 円	20 万 8692 円	30 代の夫婦 子ども2人
150 万円	18 万 4900 円	12 万 2760 円	20 代単身者

↓ポストに投函ください

(キリトリ)

国民健康保険料の引き下げを求める請願

福岡市議会議員 阿部真之助殿

【請願項目】

1. 高すぎる国民健康保険料を引き下げてください。
2. 子育て支援に反する「子どもの均等割」を賦課しないでください。

おなまえ	住所

※署名欄に記入いただいた個人情報は福岡市議会への請願提出以外の目的に使用することはありません。

【生活の実態、市政への要望など自由に記入を】

サラリーマンのセーフティネット

サラリーマンの人も、退職すれば国保に入ります。現役時代の無理が体にあらわれるのは、そこから。また、国保は現役世代の精神・神経系の疾患が多く、心身をこわして退職したサラリーマンのセーフティネットになっています。

75歳以上も同じ

所得に関係なく、家族が増えたら税金をかける——これは「人头税」とよばれた悪税で、大昔に廃止されました。

このとんでもないしくみが医療制度に残っているのは、国保と後期高齢者 (75 歳以上) だけであることが共産党の質問で判明。均等割をなくすことは 75 歳以上にとっても切実な課題です。

人头税じゃん...



市長が就任した年の予算に戻せば下げられる

国保料の負担を下げるために投入される予算 (一般会計の法定外繰入) は高島市長が市長になった直後の 2011 年度は 71 億円もあったのに、いまは 36 億円しかありません。

「8 年前の水準に増やせば 1 世帯あたり平均で年間 1 万 6000 円保険料を引き下げられる」と市長に提案しました (市長は拒否)。

所得もない赤ちゃんからもとりたてる「均等割」やめよ

国保は、所得のない赤ちゃんや子どもからも容赦なく保険料をとりたてます (均等割)。こんなひどいしくみは、サラリーマンの「けんぽ」にはありません。6 億円あれば対象の 3 万人全員分を無くせます。「やめるべきだ」と市長をただしましたが、市は「応分の負担を」と答弁。



子どもが 1 人増えるたびに 2 万 9200 円も課税負担がふえることが質問で判明

こんにちは
城南

議会報告 2019年11月

日本共産党

倉元たつお

くらもと

市議



このピラへのご意見・感想をお寄せ下さい

発行: 日本共産党福岡市議団
☎092-711-4734

@kuratatsu0711

倉元たつお Facebook ページ

倉元たつお

http://kuramoto-tatsuo.jp

無料 法律・生活相談会

11月20日(水)
午後7~8時半
倉元達朗事務所
長尾 1-16-19 ☎865-0688

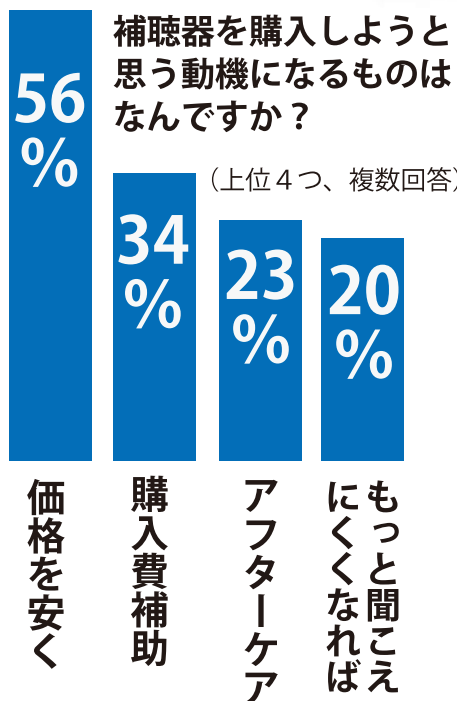
12月6日(金)
午後7~8時
六ヶ町会館
別府 5-4-8

11月14日(木)
午後7~8時半
東油山町会館
東油山 4-1-8

生活保護、相続、離婚、借金、成年後見、行政相談などお気軽に。上記以外にもいつでも受け付けます。携帯090-3604-3121へ。

寄せられたアンケートを質問でフル活用！ 補聴器に補助を

共産党市議団のアンケートより



アンケートで「耳が聞こえにくくなると意思疎通に手間がかかり、結果的に孤立しがちになる」「父が難聴で会話が聞き取りづらくなり、かなりストレスがあった」——こういう声が寄せられていますよ！

決算議会で質問をする倉元市議

世界水泳の福岡開催 いくらかかるか不明!?



福岡市は 2021 年世界水泳選手権大会の開催市になりましたが、予算の見込みが 100 億円から 140 億円へと異常な膨張をしています。決算特別委員会での倉元市議の質問によって、それでも確定していないことが明らかになり、「どこまでふくれあがるかわからないではないか」と厳しく批判しました。

さらに、当て込んでいた協賛金・寄付金収入の到達を聞かれ、到達金額を答えずにごまかそうとした市民局長に議場が騒然となり、しぶしぶ再答弁に立つ一幕も。その結果、収入は協賛金・寄付金収入は未だゼロ、放映権収入もないという驚くべき事実が発覚しました。倉元市議は、経費・収支の見込みもずさんな世界水泳から手を引いて、市民のためのスポーツ環境整備にこそ税金を使うよう市長に求めました。

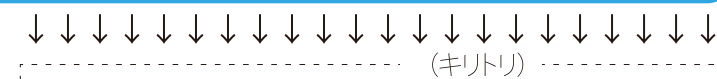
国保料引き下げ、そこが聞きたい!

知事会・市長会も——立場をこえた願いです

全国知事会は“公費 1 兆円を投入し保険料をサラリーマン並みに引き下げよ”、全国市長会も“子どもの均等割軽減を”と国に提言しています。立場の違いをこえた願いであり、共産党は、このことを質問で紹介しました。

市民の運動で下げられます

福岡市では 2007 年から 4 年間で 30 万もの国保料引き下げ請願署名が集まり、保険料を引き下げさせた実績があります。今回も市民のみなどで力を合わせて高すぎる国保料を引き下げさせましょう。



差出有効期間
令和 3 年 3 月
31 日まで

郵便はがき

810-8790 151

福岡市中央区
天神 1 丁目 8 番 1 号
福岡市議会棟 11 階

日本共産党福岡市議団 行



よろしければ、今後、お知らせなどをお届けしたいので、連絡先をお教えください(任意)。

【ご住所】福岡市城南区

【電話番号】
【お名前】

市「国などの動向見守る」

倉元達朗市議は 10 月の決算特別委員会総会で加齢性難聴（年をとることによる聞こえの悪さ）について質問しました。倉元市議は、住民から寄せられたアンケートの結果を具体的に紹介し、補聴器の必要性を明らかにしました。

補聴器を購入しなかった理由のトップがダントツで「価格が高い」とされていることなどを指摘し、補聴器の購入補助と機器の調整支援を市として行うよう求めました。

保健福祉局長は「国で研究がされており、国や他都市の動向を見守る」と述べるにとどまりました。